

第3章 調査結果の報告



第3章 調査結果の報告

1 福祉について	22
2 地域との関わりについて	27
3 地域活動・ボランティア活動等について	39
4 福祉に関する情報について.....	45
5 地域福祉のあり方について.....	46

1 福祉について

1-1 家庭状況

6割弱が高齢者のいる世帯、1割強が子どものいる世帯と回答。

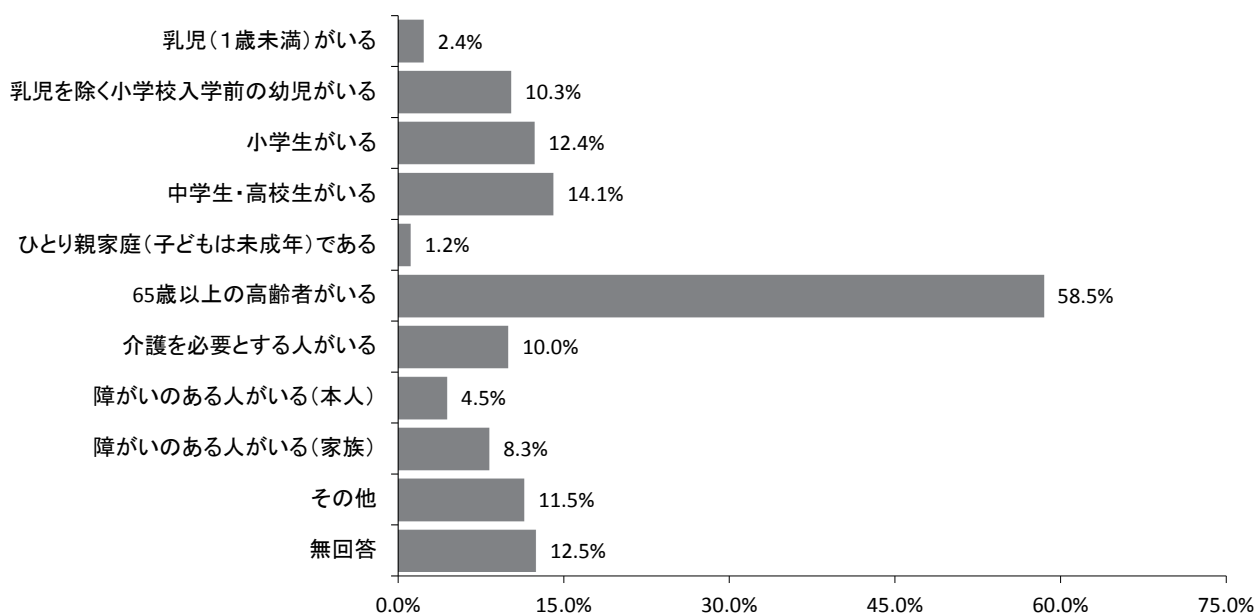
問1 あなたの家庭の状況についてお聞きします。(あてはまるものすべてに○)

家庭状況は、「65歳以上の高齢者がいる」が58.5%で最も多く、次いで「中学生・高校生がいる」が14.1%、「小学生がいる」が12.4%となっています。

また、福祉の支援対象となる世帯のうち、ひとり親家庭世帯は1.2%、介護を必要とする方がいる世帯は10.0%、障がいのある方がいる世帯は12.8%となっています。

「その他」「無回答」の方については、F3の家族構成に該当する方(ひとり暮らし等)が多く見られます。

図-1



n=759(累計 1,105)

〔「その他」11.5%の主な意見〕

- 1人暮らし
- 30才以上の子
- 60歳の父と2人暮らし
- 62才の夫
- 65歳以下の親がいる

1-2 「福祉」への関心

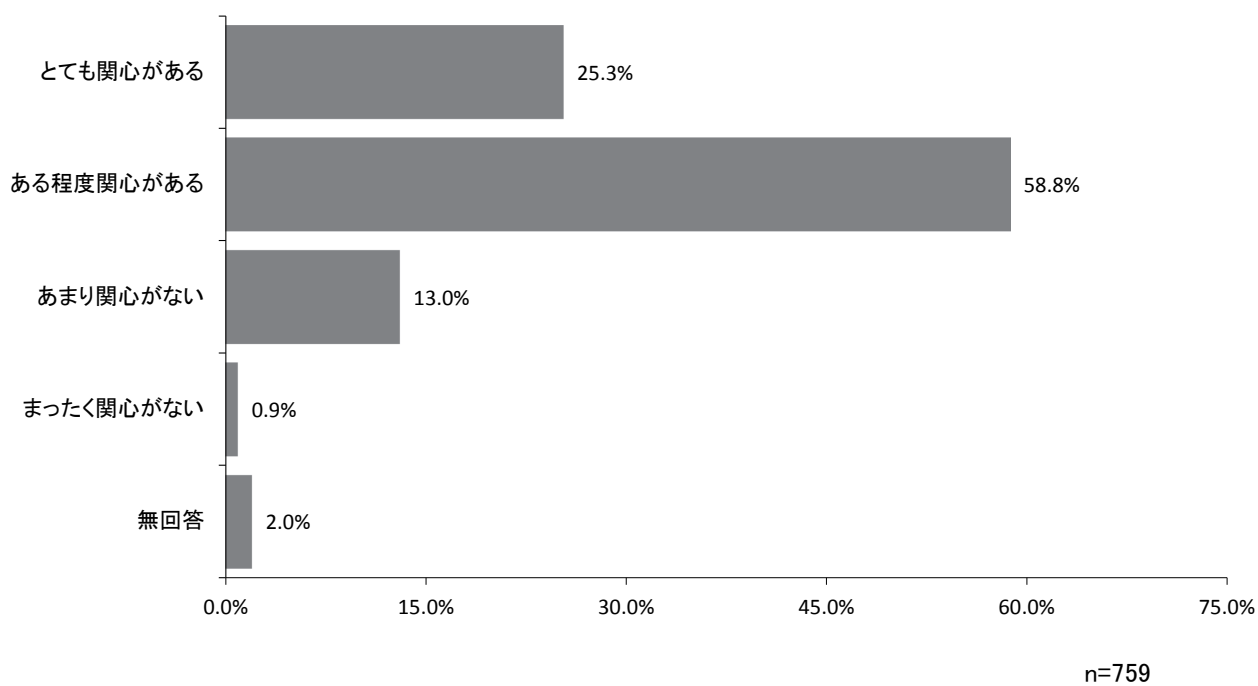
8割半ばが『関心がある』と回答。

問2 あなたは「福祉」に関心をおもちですか。(1つだけに○)

福祉への関心は、「ある程度関心がある」が58.8%で最も多く、次いで「とても関心がある」が25.3%、「あまり関心がない」が13.0%となっています。

それらを分類すると、「とても関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせた『関心がある』は84.1%、「あまり関心がない」と「まったく関心がない」を合わせた『関心がない』は13.9%となっています。

図-2



1-3 関心のある分野

5割強が「高齢者福祉」と回答。

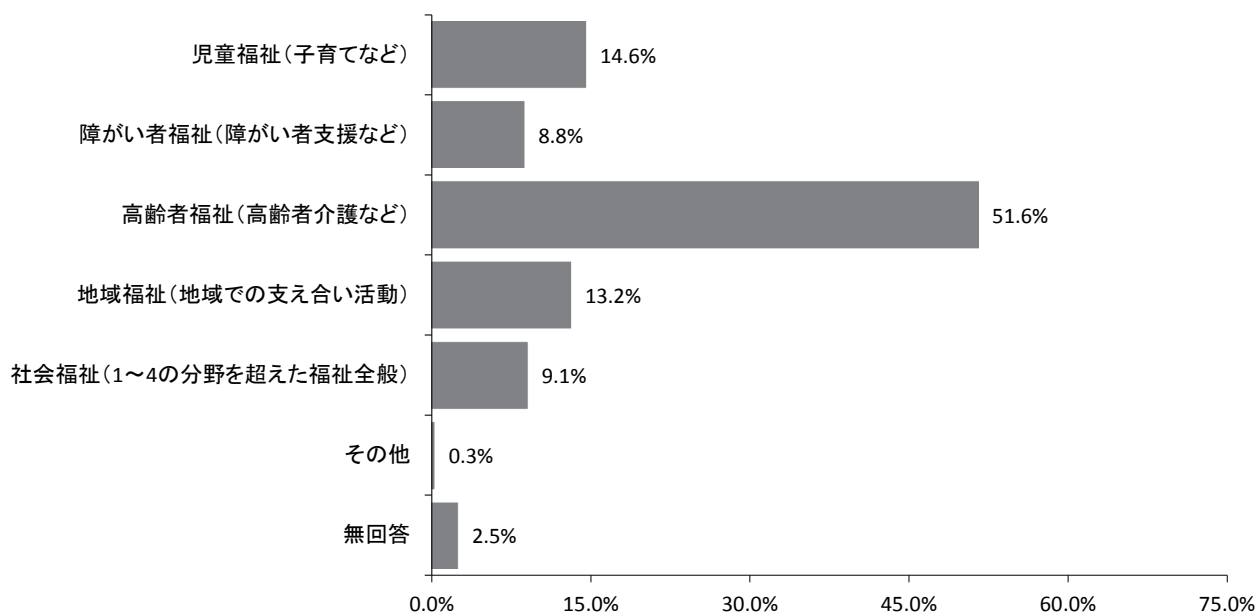
問2で「1」「2」を選んだ方にお聞きします。

問2-1 特にどの分野に関心をおもちですか。(1つだけに○)

関心のある分野は、「高齢者福祉（高齢者介護など）」が 51.6%で最も多く、次いで「児童福祉（子育てなど）」が 14.6%、「地域福祉（地域での支え合い活動）」が 13.2%となっています。

また、福祉全般の「社会福祉」は 9.1%となっています。

図-3



n=759

1-4 「福祉」の充実と財源

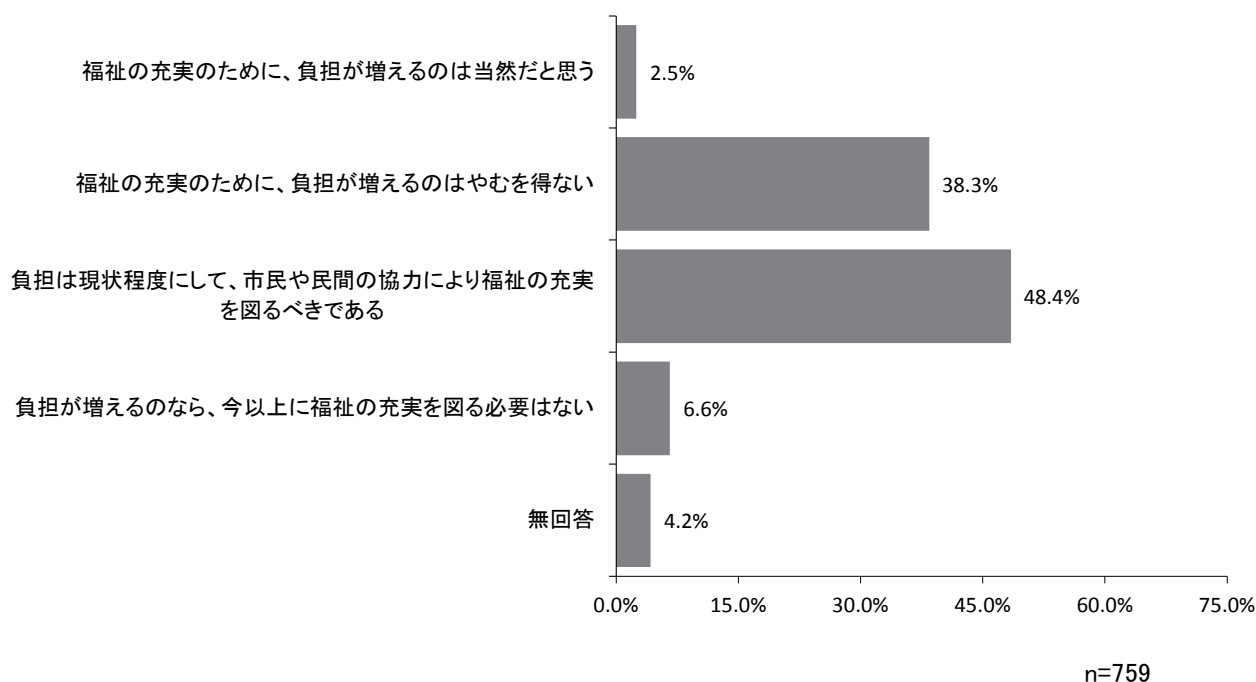
5割半ばが『負担が増えることは望まない』と回答。

問3 「福祉」の充実と財源について、あなたのお考えに最も近いものはどれですか。(1つだけに○)

「福祉」の充実と財源は、「負担は現状程度にして、市民や民間の協力により福祉の充実を図るべきである」が48.4%で最も多く、次いで「福祉の充実のために、負担が増えるのはやむを得ない」が38.3%、「負担が増えるのなら、今以上に福祉の充実を図る必要はない」が6.6%となっています。

それらを分類すると、「福祉の充実のために、負担が増えるのは当然だと思う」と「福祉の充実のために、負担が増えるのはやむを得ない」を合わせた『負担が増えることに一定の理解を示す』は40.8%、「負担は現状程度にして、市民や民間の協力により福祉の充実を図るべきである」と「負担が増えるのなら、今以上に福祉の充実を図る必要はない」を合わせた『負担が増えることは望まない』は55.0%となっています。

図-4



1-5 団体・機関の認知

「民生委員・児童委員」、「児童相談所」、「在宅介護支援センター」

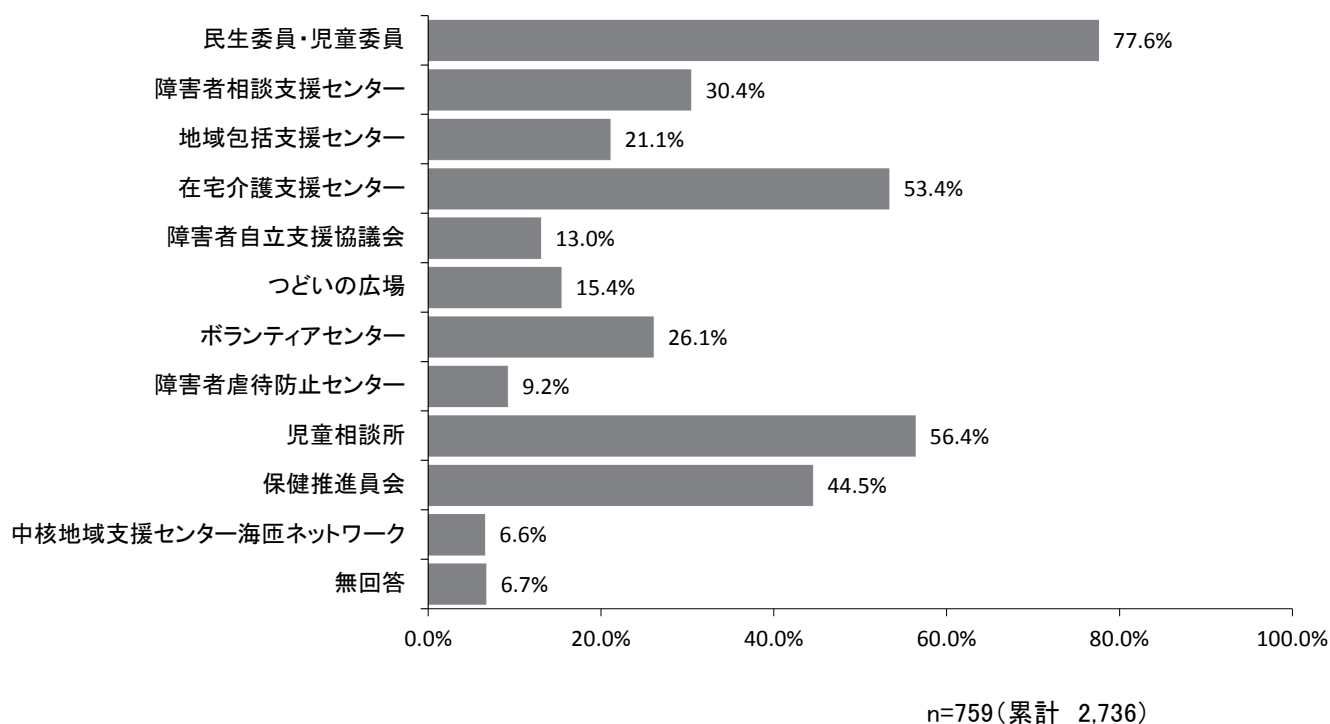
の認知度が5割を超えている。

問4 あなたは、次の団体や機関を知っていますか。(あてはまるものすべてに○)

団体・機関の認知は、「民生委員・児童委員」が77.6%で最も多く、次いで「児童相談所」が56.4%、「在宅介護支援センター」が53.4%となっています。

なお、最も認知度の低い「中核地域生活支援センター・海匠ネットワーク」は、匝瑳市のみではなく、海匠圏域（匝瑳市・旭市・銚子市）において包括的に活動しています。

図-5



2 地域との関わりについて

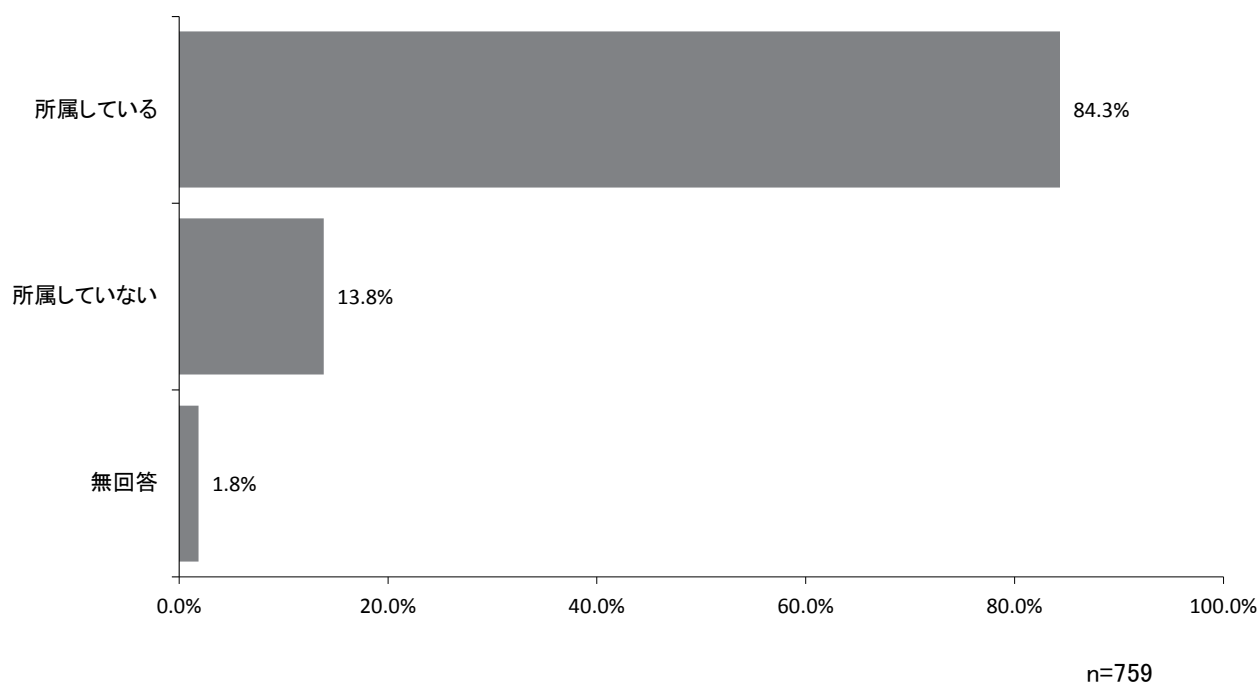
2-1 区会（町内会・自治会）への加入の有無

8割半ばが「所属」（加入）していると回答。

問5 あなたの家庭は区会（町内会・自治会）に所属していますか。（1つだけに○）

区会（町内会・自治会）への加入の有無は、「所属している」が84.3%で最も多く、次いで「所属していない」が13.8%となっています。

図-6



2-2 区会（町内会・自治会）に加入していない理由

「誘われたことがない」が回答として最も多い。

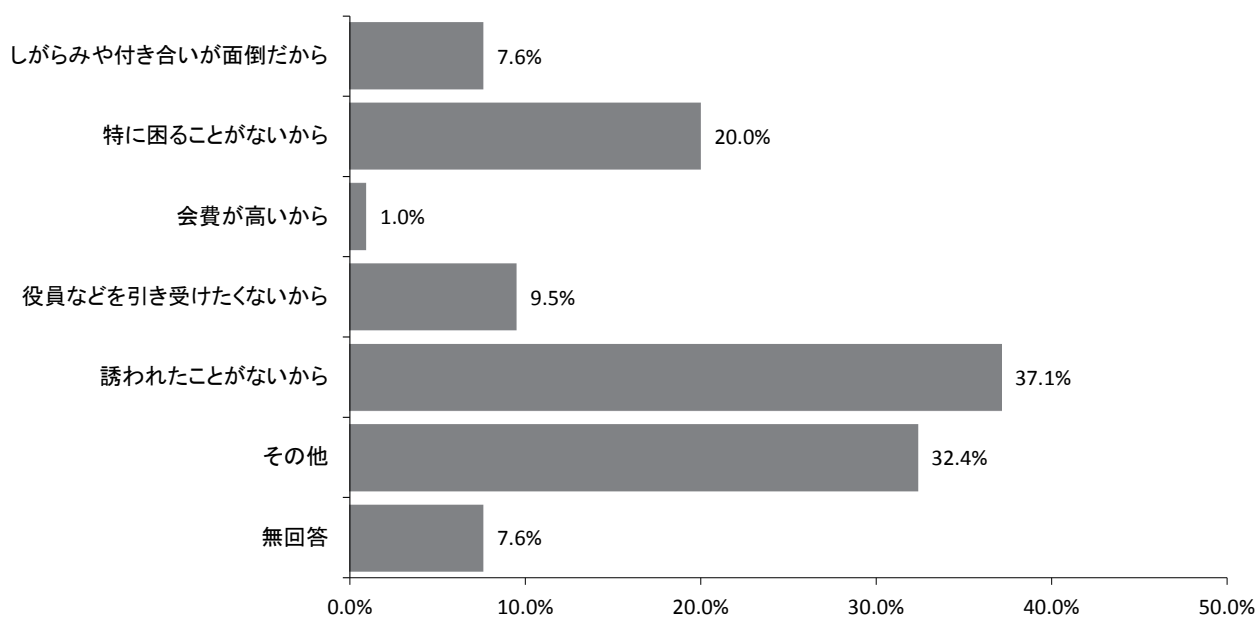
問5で「2」を選んだ方にお聞きします。

問5-1 区会（町内会・自治会）に所属していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

区会（町内会・自治会）に加入していない理由は、「誘われたことがないから」が37.1%で最も多く、次いで「その他」が32.4%、「特に困ることがないから」が20.0%となっています。

「その他」の意見では、地域内に区会が設置されていないや、高齢を理由とする等、地域や個人（身体能力）の事情に影響されている現状が見られます。

図-7



n=105(累計 121)

【「その他」32.4%の主な意見】

- ・1人暮らしのアパートに住んでいるので、地域とのかかわりが少ない。
- ・地域に区会町内会がない。
- ・高齢のため行事に出席できない。
- ・借家のため未加入。
- ・新興住宅地のため、まだ区会がない。
- ・誘われた事もあるが、自分より年配者の多い、新しい地区では、勝手に決められない。

2-3 地域への愛着の程度

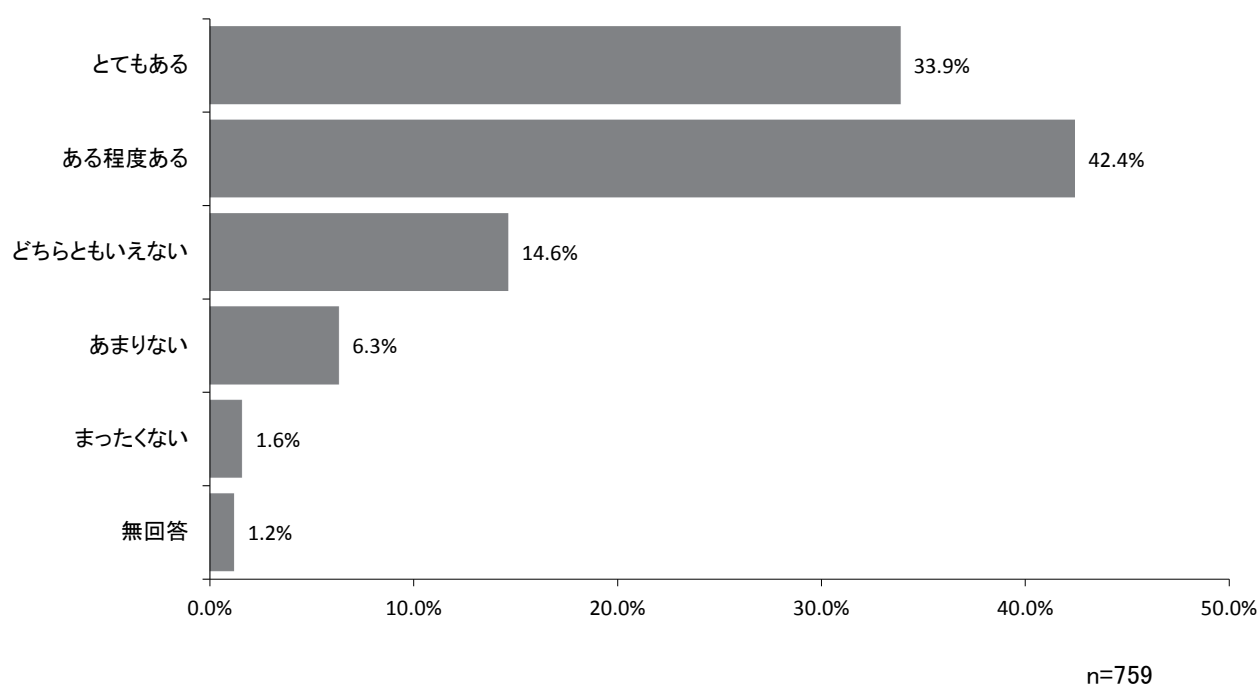
7割半ばが『愛着がある』と回答。

問6 あなたは、今住んでいる地域に愛着がありますか。(1つだけに○)

地域への愛着の程度は、「ある程度ある」が42.4%で最も多く、次いで「とてもある」が33.9%、「どちらともいえない」が14.6%となっています。

それらを分類すると、「とてもある」と「ある程度ある」を合わせた『愛着がある』は76.3%、「あまりない」と「まったくない」を合わせた『愛着がない』は7.9%となっています。

図-8



2-4 愛着のある理由

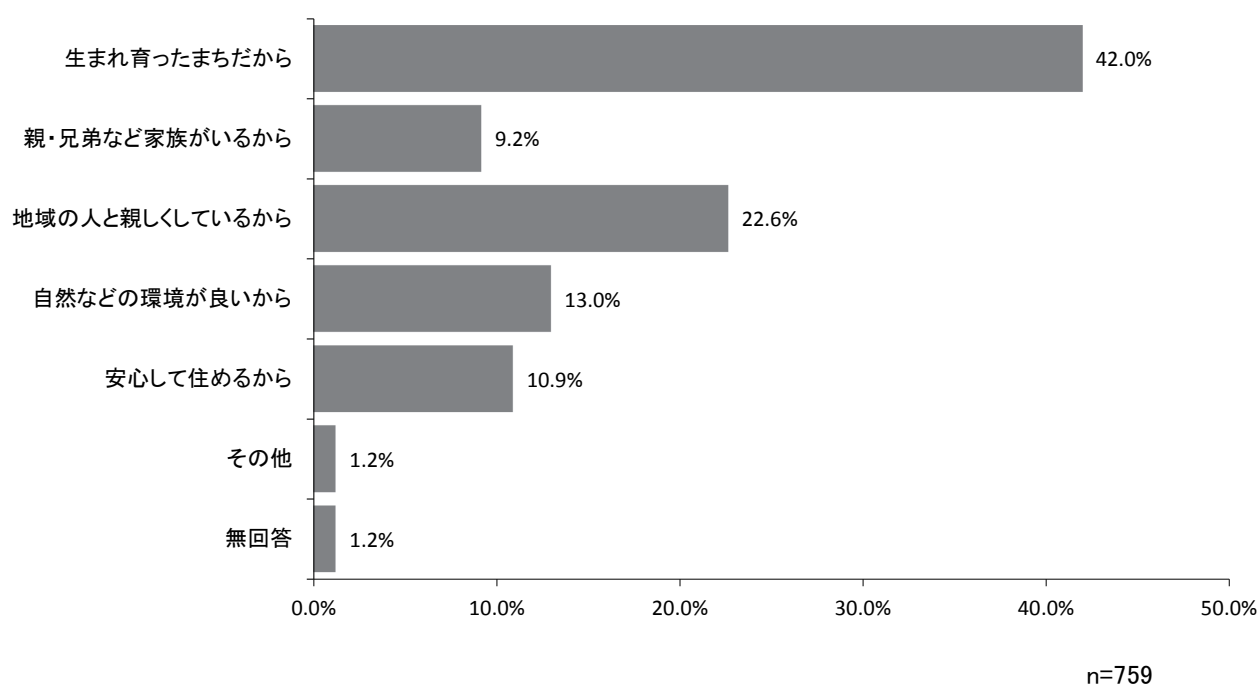
4割強が「生まれ育ったまちだから」と回答。

問6で「1」「2」を選んだ方にお聞きします。

問6-1 愛着があると感じるのはなぜですか。(1つだけに○)

愛着のある理由は、「生まれ育ったまちだから」が42.0%で最も多く、次いで「地域の人と親しくしているから」が22.6%、「自然などの環境が良いから」が13.0%となっています。

図-9



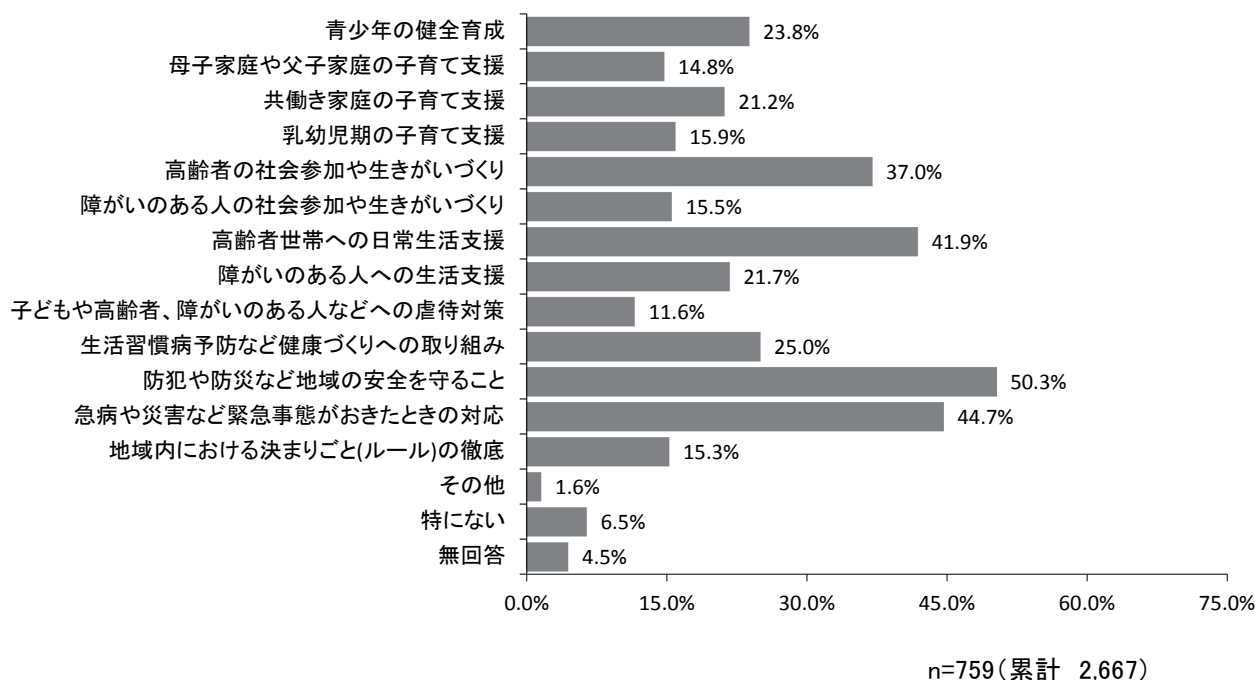
2-5 地域が取り組むべき課題や問題

「防犯や防災など地域の安全を守ること」が回答として最も多い。

問7 あなたの身近な地域には、地域住民が取り組むべき課題や問題としてどのようなこと
があると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

地域が取り組むべき課題や問題は、「防犯や防災など地域の安全を守ること」が50.3%で最も多く、次いで「急病や災害など緊急事態がおきたときの対応」が44.7%、「高齢者世帯への日常生活支援」が41.9%となっています。

図-10



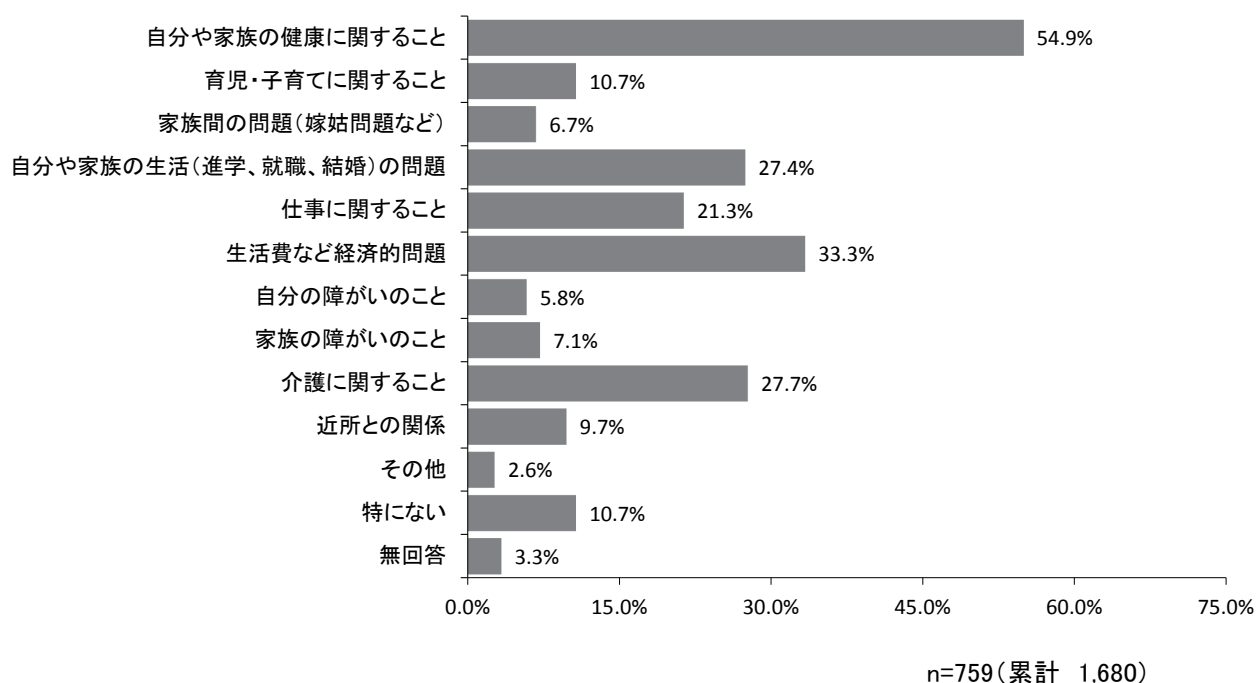
2-6 日々の生活での悩みや不安

「自分や家族の健康に関すること」が回答として最も多い。

問8 あなたは、毎日の暮らしの中で、次のどのようなことに悩みや不安を感じていますか。
(あてはまるものすべてに○)

日々の生活での悩みや不安は、「自分や家族の健康に関すること」が 54.9%で最も多く、次いで「生活費など経済的問題」が 33.3%、「介護に関すること」が 27.7%となっています。また、障がいに係る回答は 12.9%となっています。

図-11



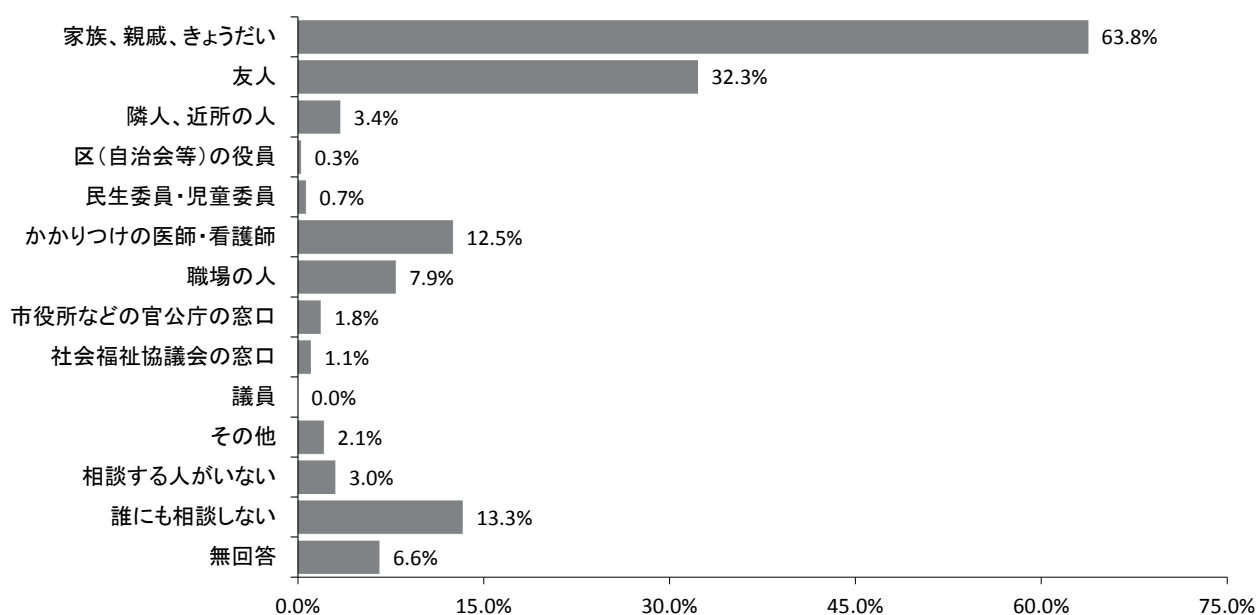
2-7 悩みや不安の相談先

「家族、親戚、きょうだい」が回答として最も多い。

問9 現在、不安や悩みをどこに(だれに)相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

悩みや不安の相談先は、「家族、親戚、きょうだい」が63.8%で最も多く、次いで「友人」が32.3%、「誰にも相談しない」が13.3%となっています。行政への相談は1.8%、社会福祉協議会への相談は1.1%、「相談する人がいない」は3.0%となっています。

図-12



n=759(累計 1,129)

2-8 (1) 地域の人にできること

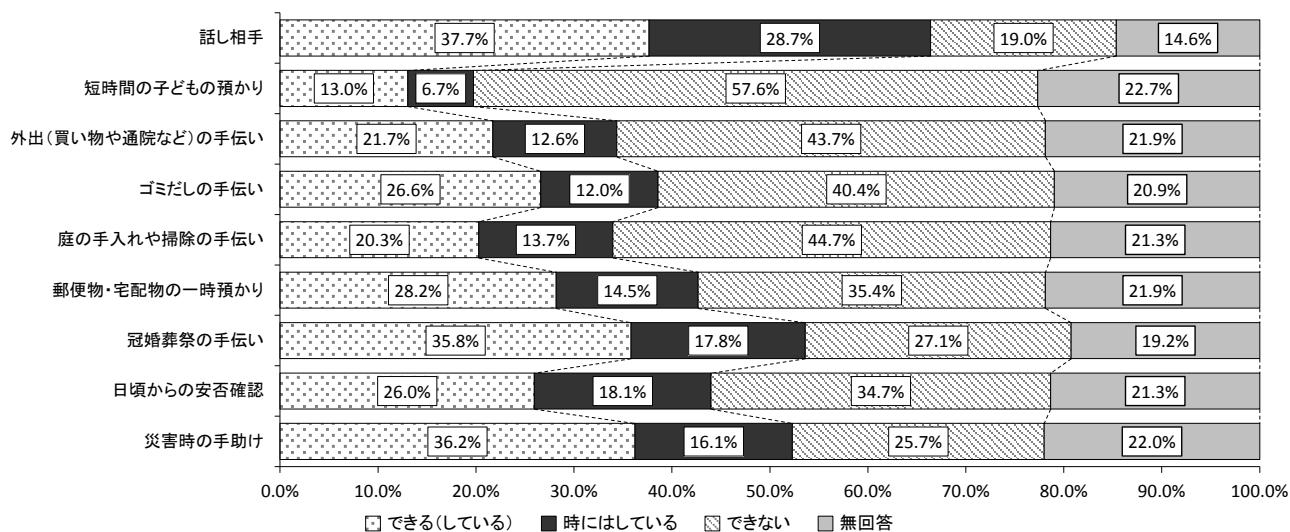
「話し相手」が最も多く『できる(している)』と回答。

問 10 あなたは、近所の人から頼まれた場合、どのようなことができると思いますか。(各項目の番号に1つだけ○) 自分がしてほしい場合は○

「できる」「時にはしている」を合わせた『できる(している)』が最も多いのは「話し相手」の66.4%、次いで「冠婚葬祭の手伝い」の53.6%、「災害時の手助け」の52.3%となっています。

一方、『できない』が最も多いのは「短時間の子どもの預かり」の57.6%、次いで「庭の手入れや掃除の手伝い」の44.7%、「外出(買い物や通院など)の手伝い」の43.7%となっています。

図-13



n=759

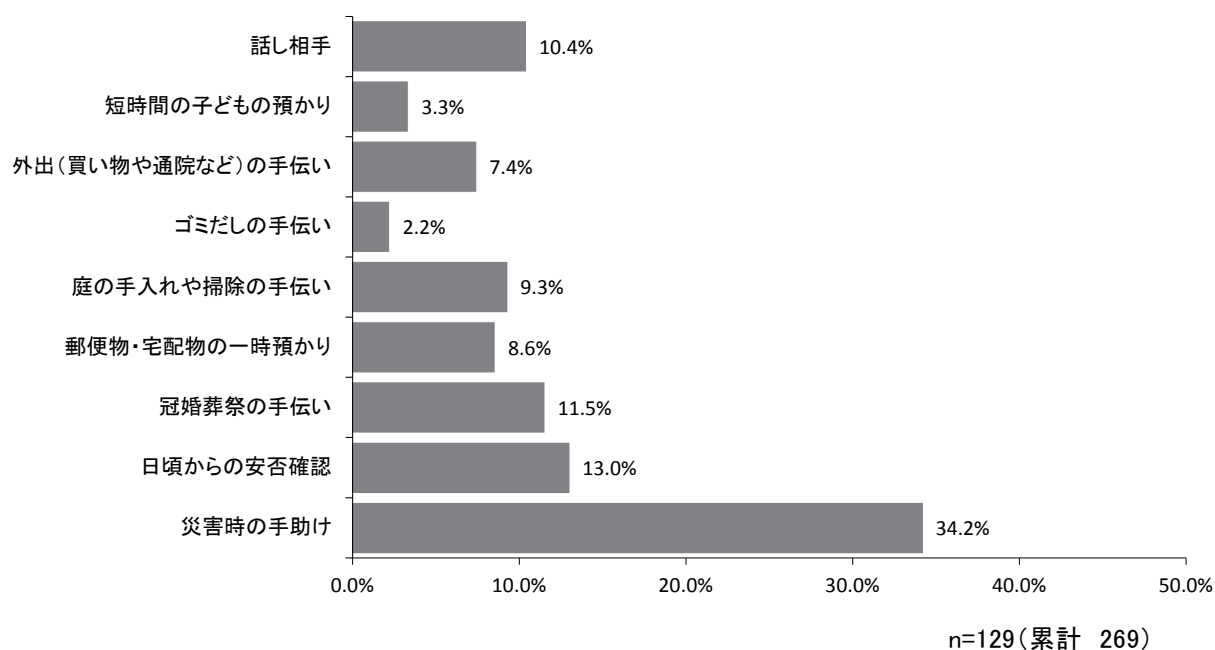
2-8 (2) 地域の人にしてほしいこと

「災害時の手助け」が最も多い。

問 10 において、それぞれの項目に「してほしい」と回答したのは全体の 17.0%、無回答は 83.0%となっています。

また、回答のあった項目のうち、最も多いのは「災害時の手助け」の 34.2%、次いで「日頃からの安否確認」の 13.0%、「冠婚葬祭の手伝い」の 11.5%となっています。

図-14



2-9 住みやすさ

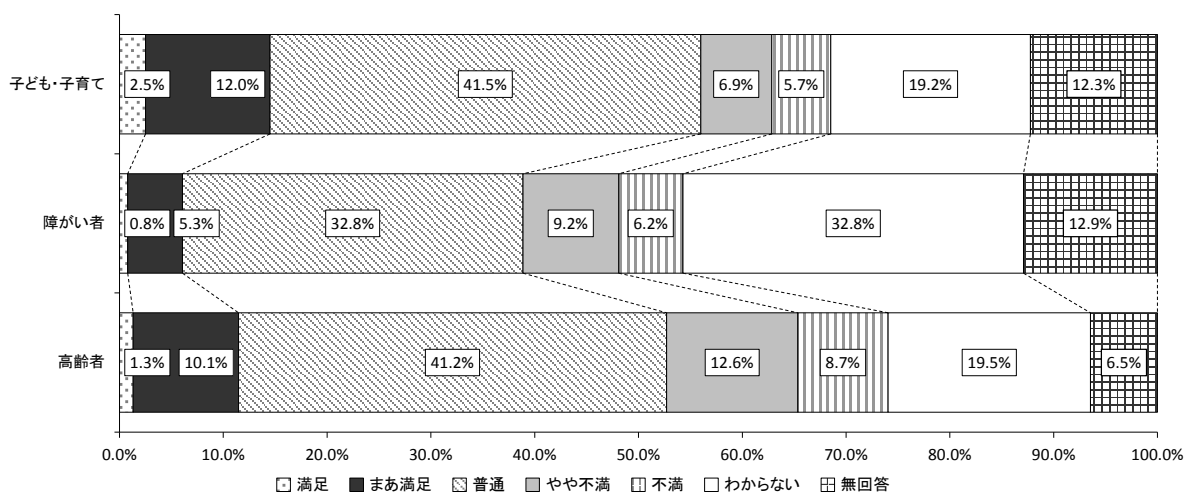
『満足』は「子ども・子育て」が1割半ば、「障がいのある方」が1割未満、「高齢の方」が1割強と回答。

問11 匝瑳市は子どもや高齢者、障がいのある人などにとって暮らしやすいまちだと思いますか。(1つだけに○)

「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』と回答したのは、子ども・子育て環境では14.5%、障がいのある方にとって住みよい環境では6.1%、高齢の方にとって住みよい環境では11.4%となっています。

また、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』と回答したのは、それぞれ、12.6%、15.4%、21.3%となっています。

図-15



n=759

2-10 地域の暮らしやすさ

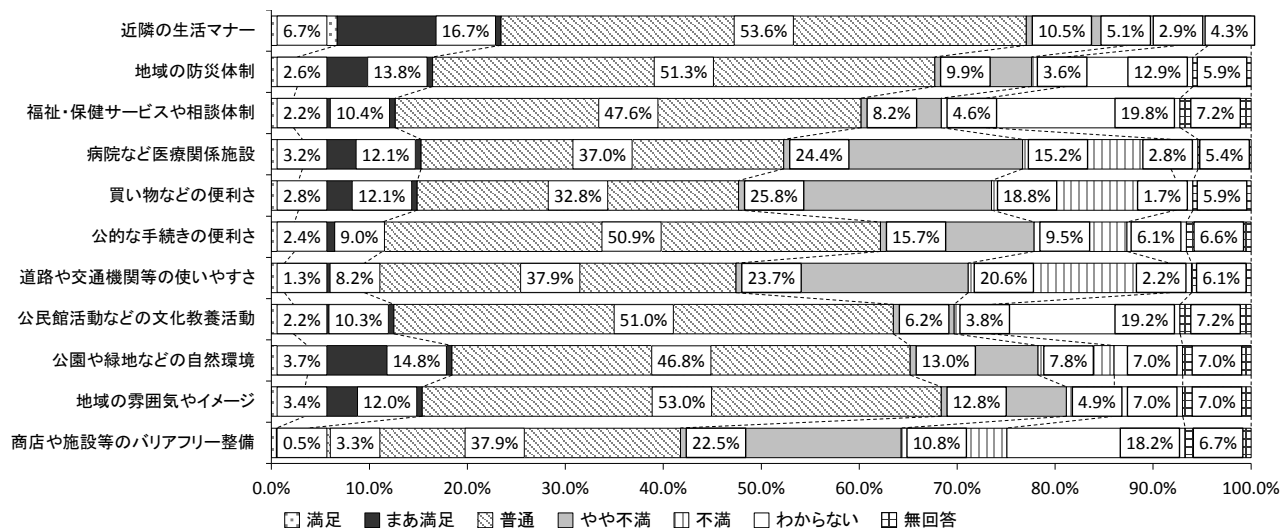
『満足』が最も多い回答は「近隣の生活マナー」。

問12 地域の暮らしやすさはいかがですか。(各項目の番号に1つだけ〇)

「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が最も多いのは「近隣の生活マナー」の23.4%で、次いで「公園や緑地などの自然環境」の18.5%、「地域の防災体制」の16.4%となっています。

また、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』が最も多いのは「買い物などの便利さ」の44.6%、次いで「道路や交通機関等の使いやすさ」の44.3%、「病院など医療関係施設」の39.6%となっています。

図-16



n=759

2-1-1 防災や緊急時の対策

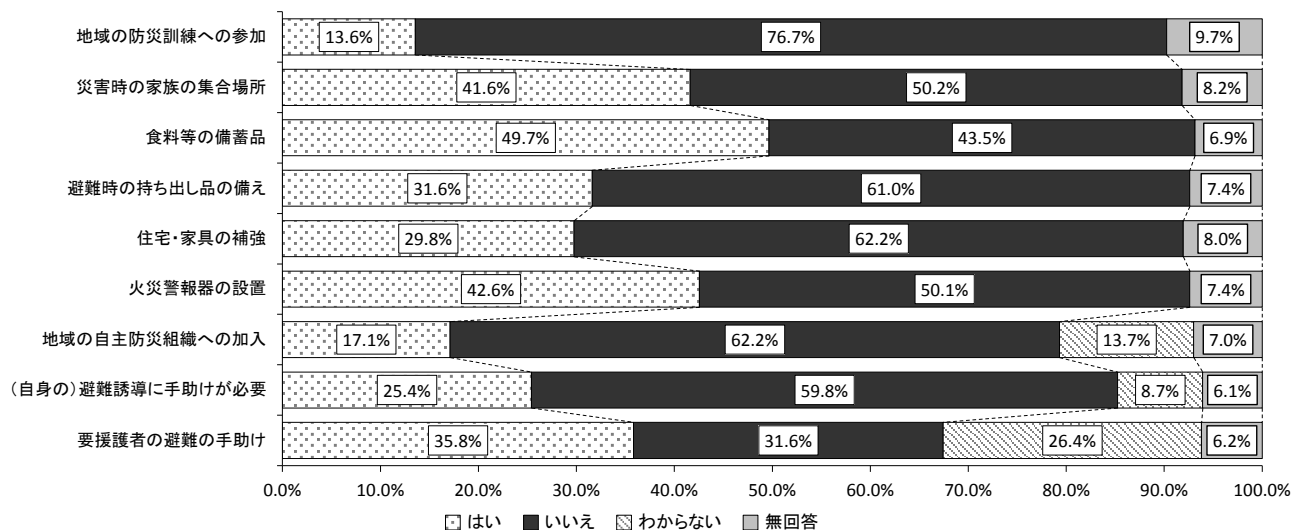
5割弱で対応が進んでいるのは「食料等の備蓄品」の備え。

問13 あなたの防災対策、災害時のお考えはどうか。(各項目の番号に1つだけ○)

防災や緊急時の対策では、「はい」(対応している)が最も多いのが「食料等の備蓄品」で49.7%、次いで「火災警報器の設置」の42.6%、「災害時の家族の集合場所」の41.6%となっています。

一方、「いいえ」(対応していない)が最も多いのは「地域の防災訓練への参加」で76.7%、次いで「住宅・家具の補強」「地域の地域防災組織への加入」の62.2%、「避難時の持ち出し品の備え」の61.0%となっています。

図-17



n=759

3 地域活動・ボランティア活動等について

3-1 地域活動やボランティア活動などへの参加の有無

3割弱が『参加している』と回答。

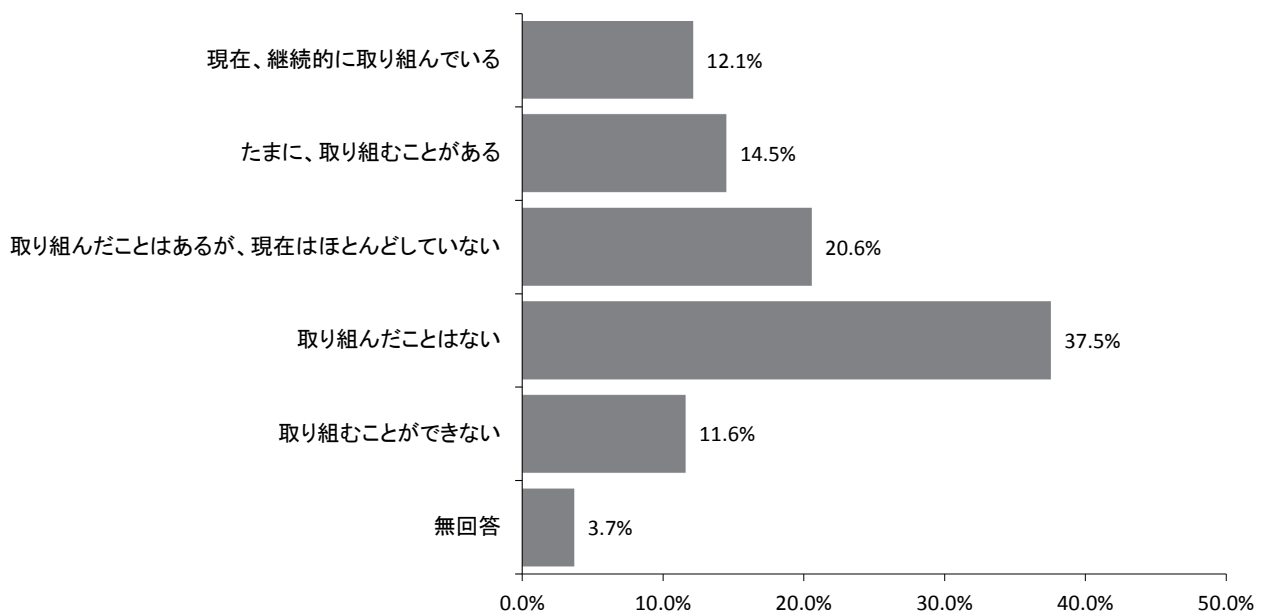
問14 あなたは、地域活動やボランティア活動等に取り組んでいますか。(1つだけに○)

地域活動やボランティア活動などへの参加の有無は、「取り組んだことはない」が37.5%で最も多く、次いで「取り組んだことはあるが、現在はほとんどしていない」が20.6%、「たまに取り組むことがある」が14.5%となっています。

それらを分類すると、「現在、継続的に取り組んでいる」と「たまに、取り組むことがある」を合わせた『参加している』は26.6%、さらに「取り組んだことはあるが、現在はほとんどしていない」を加えた『参加経験がある』は47.2%となっています。

また、「取り組んだことはあるが、現在はほとんどしていない」と「取り組んだことはない」、「取り組むことができない」を合わせた『参加していない』は69.7%となっています。

図-18



n=759

3-2 主な活動

「区会（自治会等）の活動」が回答として最も多い。

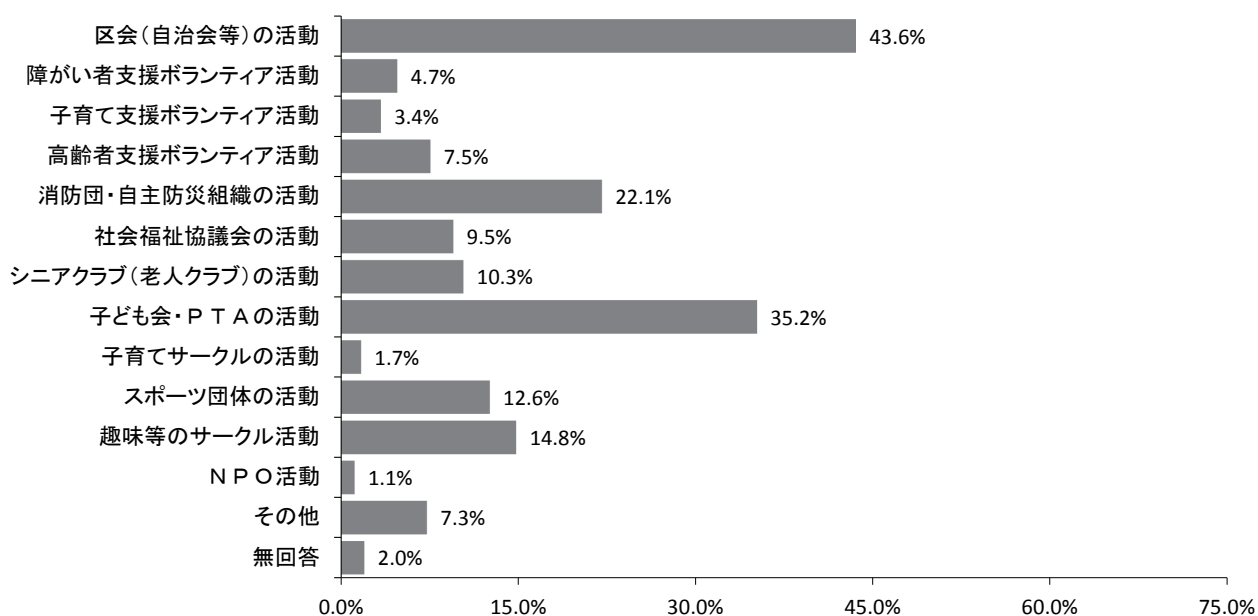
問14で「1」「2」「3」を選んだ方にお聞きします。

問14-1 どんな活動をしていますか（いましたか）。（あてはまるものすべてに○）

主な活動は、「区会（自治会等）の活動」が43.6%で最も多く、次いで「子ども会・PTAの活動」が35.2%、「消防団・自主防災組織の活動」が22.1%となっています。

また、「社会福祉協議会の活動」は9.5%となっています。

図-19



n=358(累計 629)

【「その他」7.3%の主な意見】

- ・美化清掃（ゴミ拾い等）。
- ・行政相談の補助。
- ・小学校の食育。農業体験。
- ・保健推進員の活動や交通安全協会の活動。
- ・日本語教室講師

3-3 活動していない理由

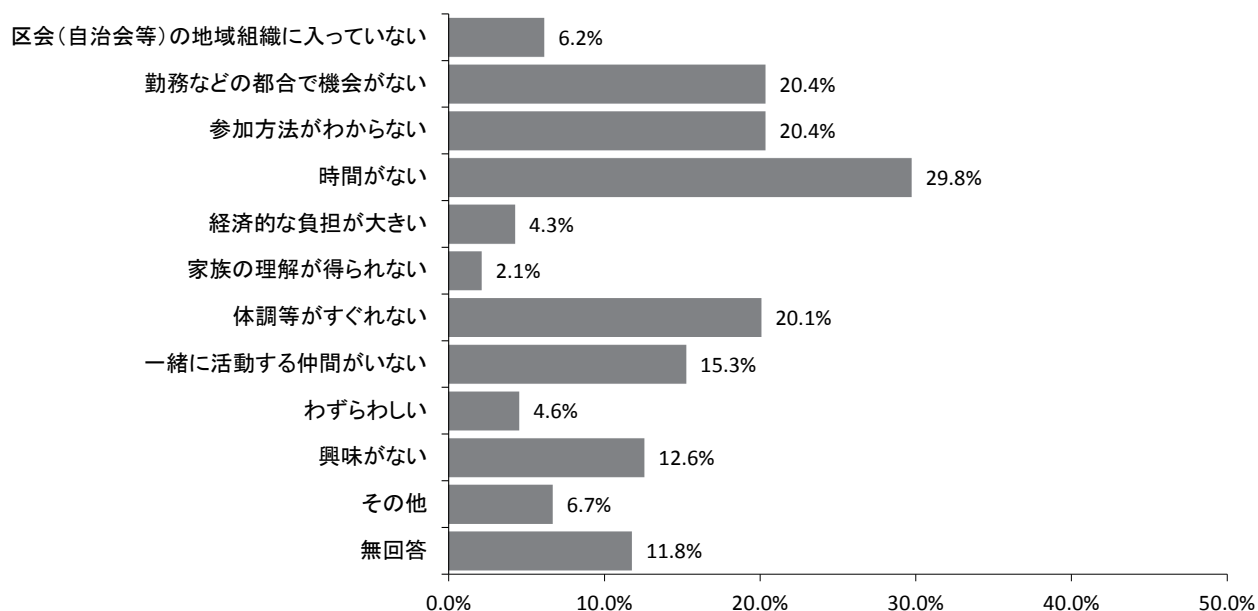
「時間がない」が回答として最も多い。

問 14 で「4」「5」を選んだ方にお聞きします。

問 14-2 現在活動していない理由は何ですか。 (あてはまるものすべてに○)

活動していない理由は、「時間がない」が 29.8%で最も多く、次いで「勤務などの都合で機会がない」「参加方法がわからない」が 20.4%、「体調等がすぐれない」が 20.1%となっています。

図-20



n=373(累計 575)

【「その他」6.7%の主な意見】

- ・ひとり暮らしなので、自分の生活でいっぱい。
- ・高齢で病気がち。
- ・子どもの世話がある。
- ・健康に不安を抱えている。

3-4 今後の参加意向

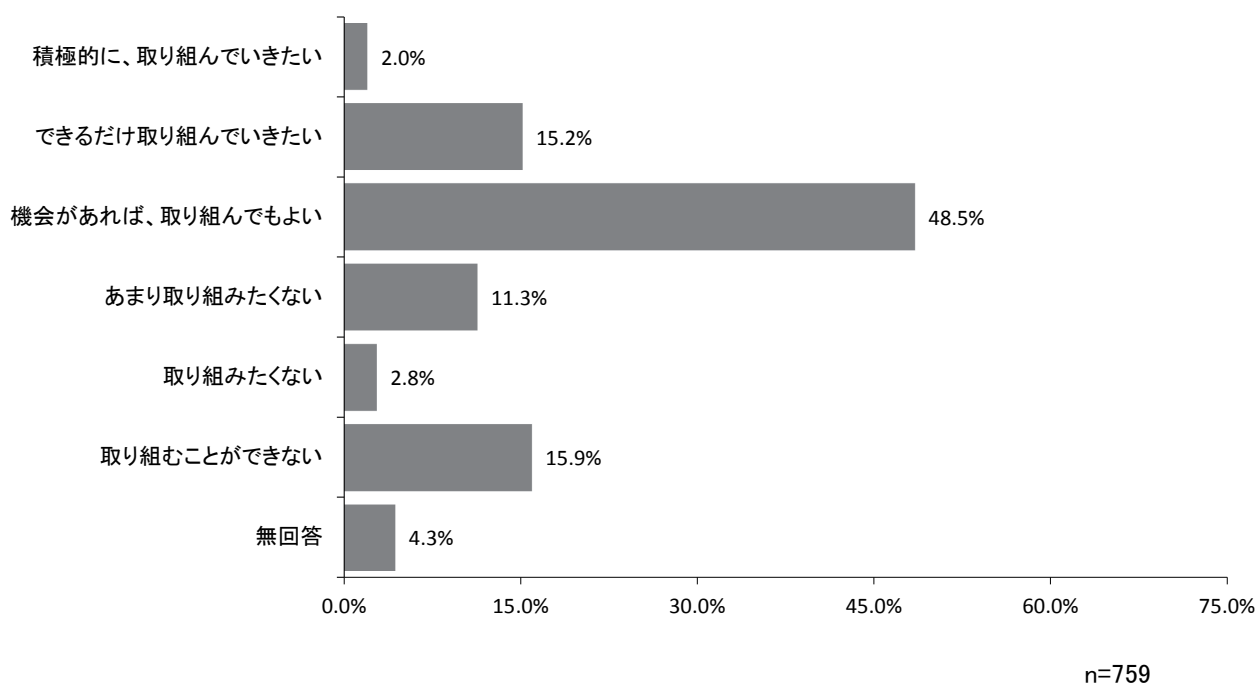
6割半ばが『取り組みについて関心がある』と回答。

問15 あなたは、今後、地域活動やボランティア活動等に、どの程度取り組んでいきたいと考えていますか。(1つだけに○)

今後の参加意向は、「機会があれば、取り組んでもよい」が48.5%で最も多く、次いで「取り組むことができない」が15.9%、「できるだけ取り組んでいきたい」が15.2%となっています。

それらを分類すると「積極的に、取り組んでいきたい」と「できるだけ取り組んでいきたい」、「機会があれば、取り組んでもよい」を合わせた『取り組みについて関心がある』は65.7%、「あまり取り組みたくない」と「取り組みたくない」を合わせた『取り組みについて関心がない』は14.1%、何らかの理由により「取り組むことができない」は15.9%となっています。

図-21



3-5 活動・参加の条件

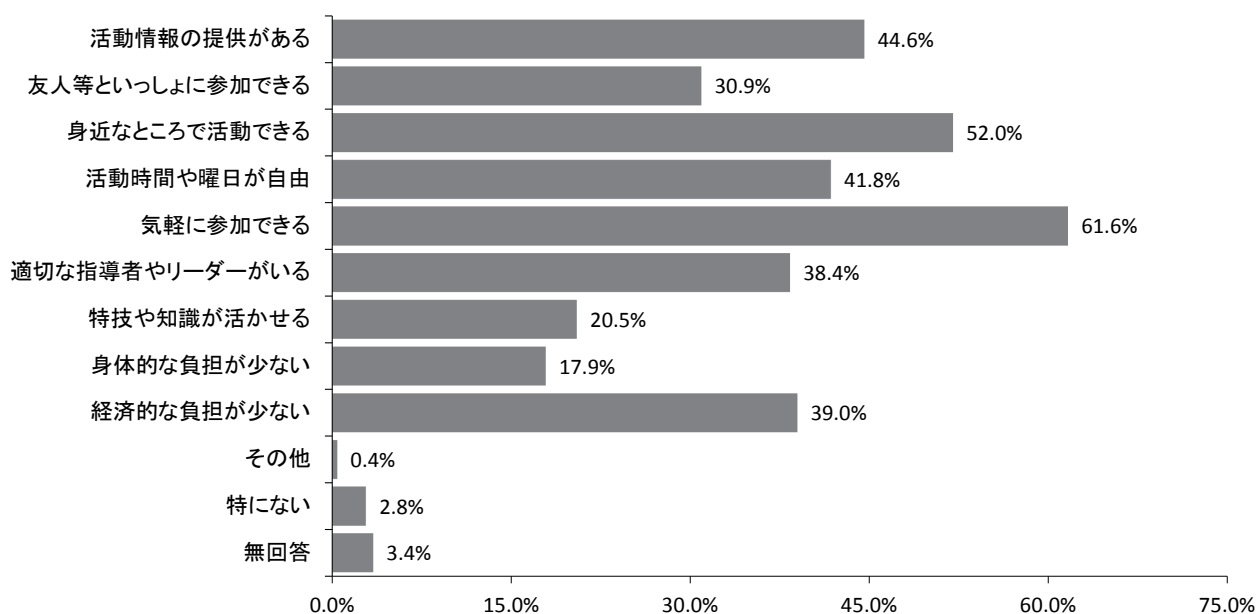
「気軽に参加できる」、「身近なところで活動できる」

の条件が5割を超えている。

問15で「1」「2」「3」を選んだ方にお聞きします。
問15-1 ボランティア活動を活発にするにはどのようにしたらいいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

活動・参加の条件は、「気軽に参加できる」が61.6%で最も多く、次いで「身近なところで活動できる」が52.0%、「活動情報の提供がある」が44.6%となっています。

図-22



n=498(累計 1,759)

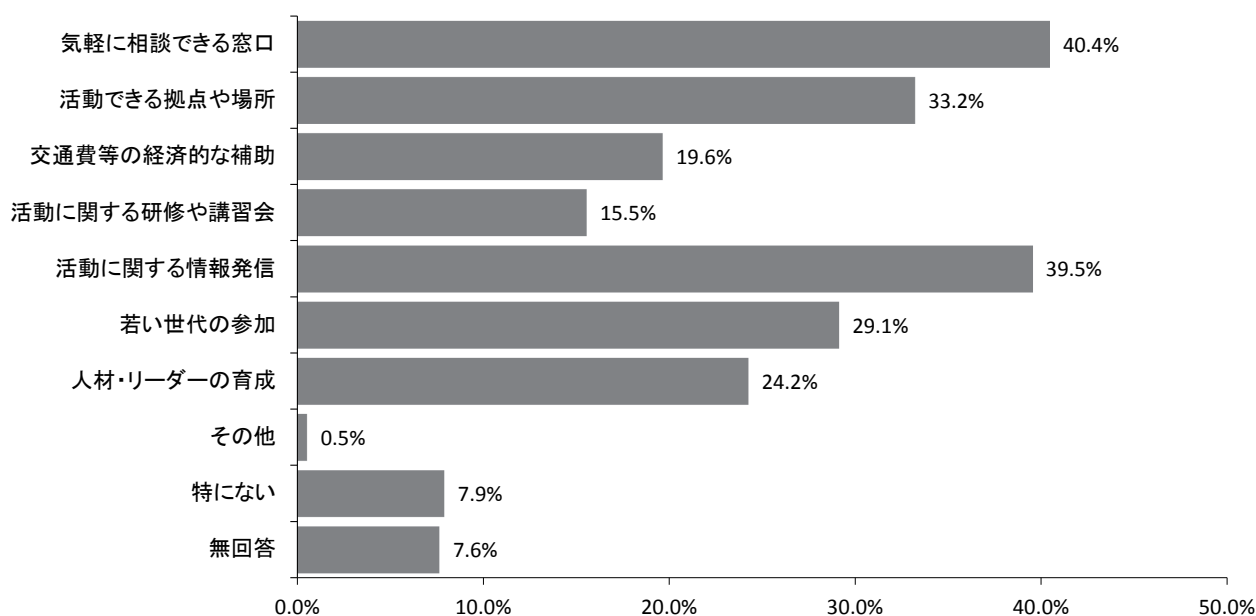
3-6 地域活動やボランティア活動を広げていくために必要なこと

「気軽に相談できる窓口」が回答として最も多い。

問 16 今後、地域活動やボランティア活動の輪を広げていくためには、何が必要と思いますか。(〇は3つまで)

地域活動やボランティア活動を広げていくために必要なことは、「気軽に相談できる窓口」が40.4%で最も多く、次いで「活動に関する情報発信」が39.5%、「活動できる拠点や場所」が33.2%となっています。

図-23



n=759(累計 1,653)

4 福祉に関する情報について

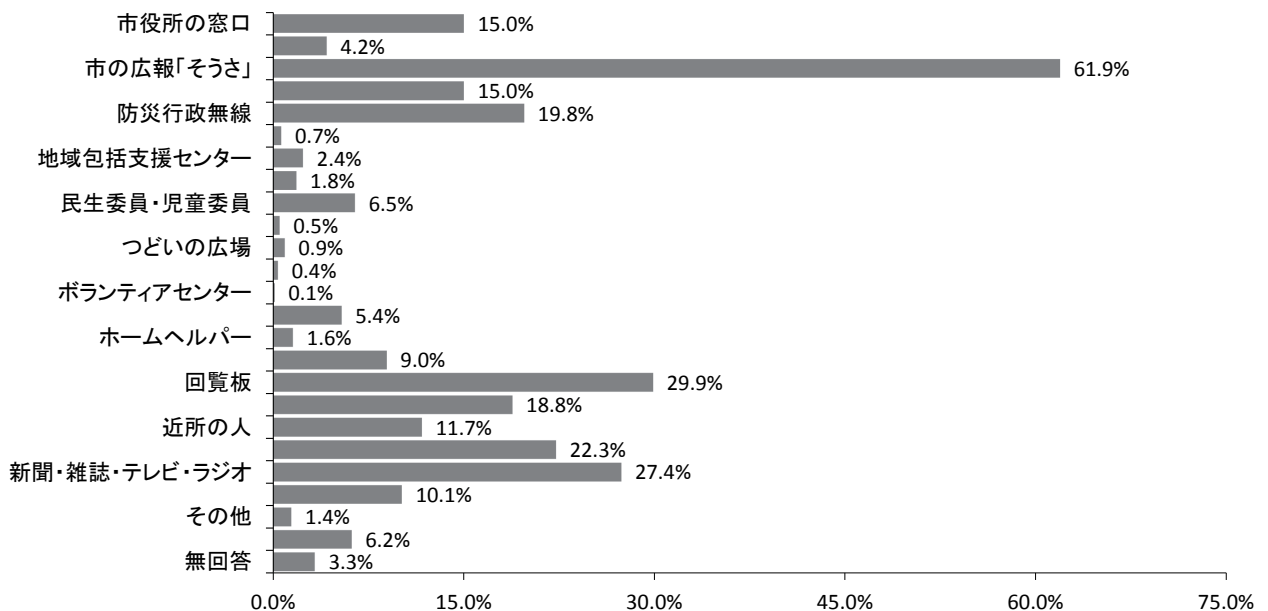
4-1 福祉に関する情報の入手先

「市の広報「そうさ」」が回答として最も多い。

問 17 あなたは、福祉に関する情報をどこから（だれから）入手していますか。（あてはまるものすべてに○）

福祉に関する情報の入手先は、「市の広報「そうさ」」が 61.9%で最も多く、次いで「回覧板」が 29.9%、「新聞・雑誌・テレビ・ラジオ」が 27.4%となっています。

図-24



n=759(累計 2,098)

5 地域福祉のあり方について

5-1 福祉施策を今後、より充実していくための取り組み

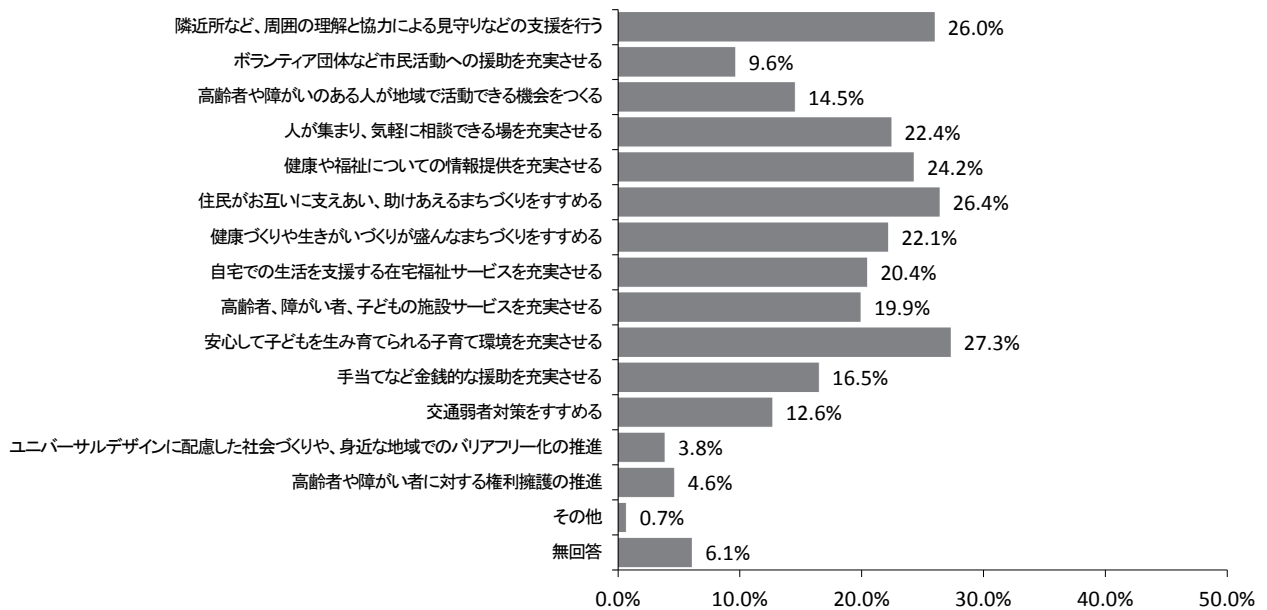
「安心して子どもを産み育てられる子育て環境を充実させる」

が回答として最も多い。

問 18 匝瑳市の福祉施策を充実していくために、あなたが重要と考える取り組みはどれですか。（優先順位の高いものから〇は3つまで）

福祉施策を今後、より充実していくための取り組みは、「安心して子どもを産み育てられる子育て環境を充実させる」が 27.3%で最も多く、次いで「住民がお互いに支えあい、助けあえるまちづくりをすすめる」が 26.4%、「隣近所など、周囲の理解と協力による見守りなどの支援を行う」が 26.0%となっています。

図-25



n=759(累計 1,951)

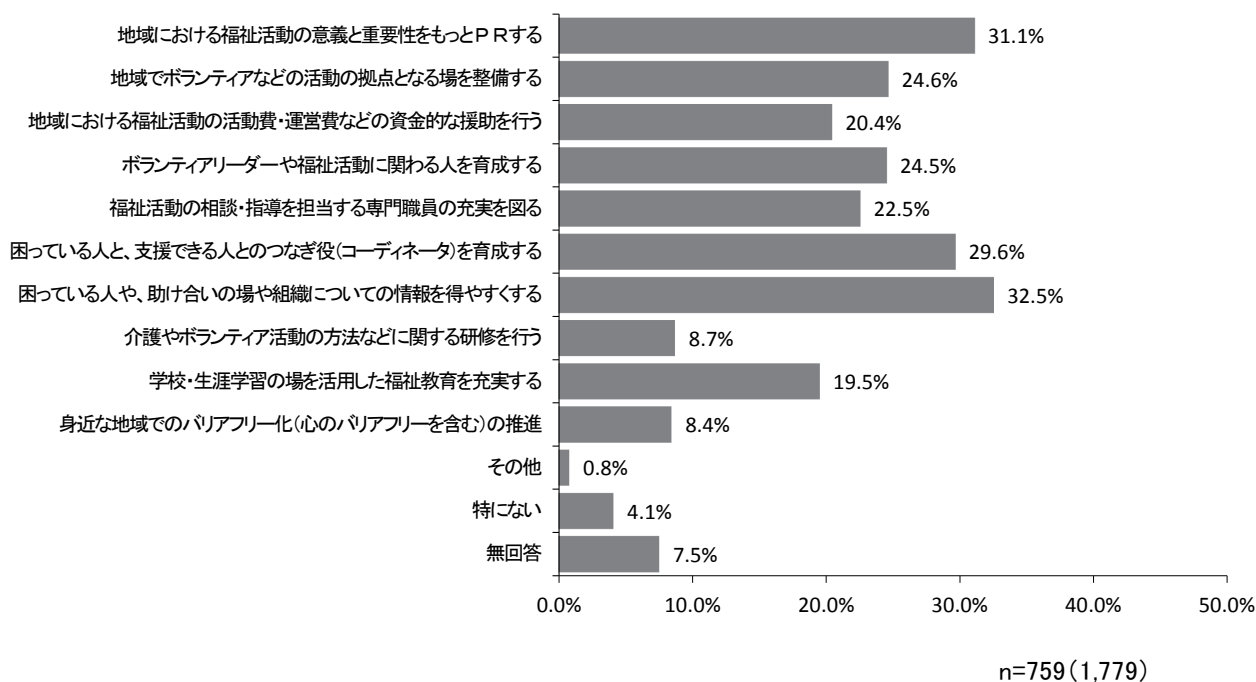
5-2 地域における支えあい、助けあい活動に重要なこと

「困っている人や、助け合いの場や組織についての情報を得やすくする」が回答として最も多い。

問 19 地域における支えあい、助けあい活動を活発にするためには、どのようなことが重要だと思いますか。(〇は3つまで)

地域における支えあい、助けあい活動に重要なことは、「困っている人や、助け合いの場や組織についての情報を得やすくする」が 32.5%で最も多く、次いで「地域における福祉活動の意義と重要性をもっとPRする」が 31.1%、「困っている人と、支援できる人とのつなぎ役(コーディネータ)を育成する」が 29.6%となっています。

図-26



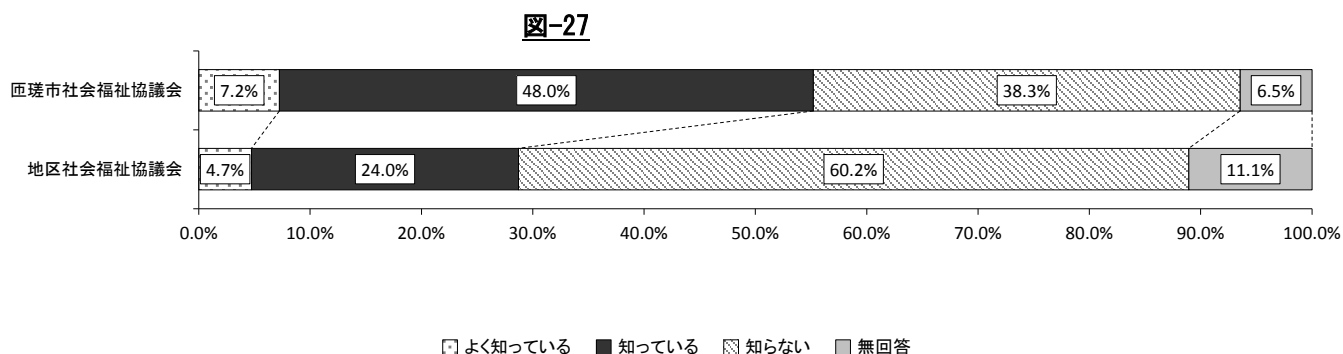
5-3 市社協及び地区社協の認知度

『知っている』は匝瑳市社協が5割半ば、地区社協が3割弱と回答。

問20 あなたは、匝瑳市社会福祉協議会、または地区社会福祉協議会を知っていますか。(各項目の番号に1つだけ○)

市社協及び地区社協の認知度は、匝瑳市社会福祉協議会は「知っている」が48.0%、地区社会福祉協議会は「知らない」が60.2%とそれぞれ最も多い回答となっています。

それらを分類すると、「よく知っている」と「知っている」を合わせた匝瑳市社会福祉協議会を『知っている』は55.2%、地区社会福祉協議会は28.7%、『知らない』はそれぞれ38.3%、60.2%となっています。



n=759

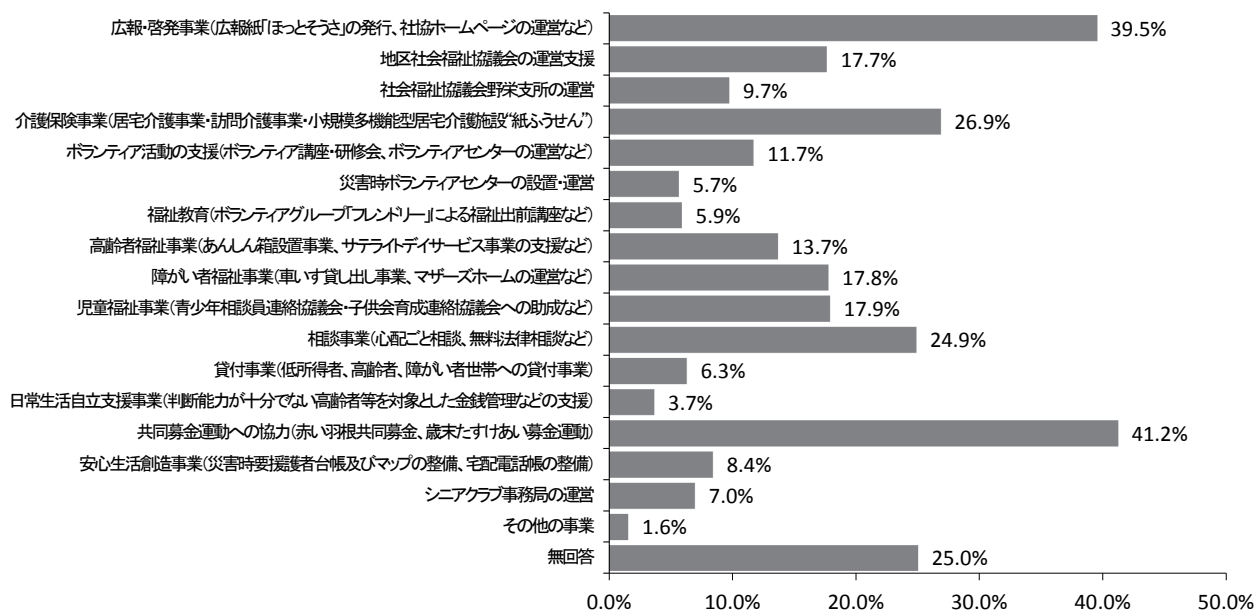
5-4 市社協の事業（活動）の認知度

「共同募金運動への協力」が回答として最も多い。

問 21 あなたの知っている匝瑳市社会福祉協議会の活動は次のどれですか。（あてはまるものすべてに○）

市社協の事業（活動）の認知度は、「共同募金運動への協力」が41.2%で最も多く、次いで「広報・啓発事業」が39.5%、「介護保険事業」が26.9%となっています。

図-28



n=759(累計 2,161)

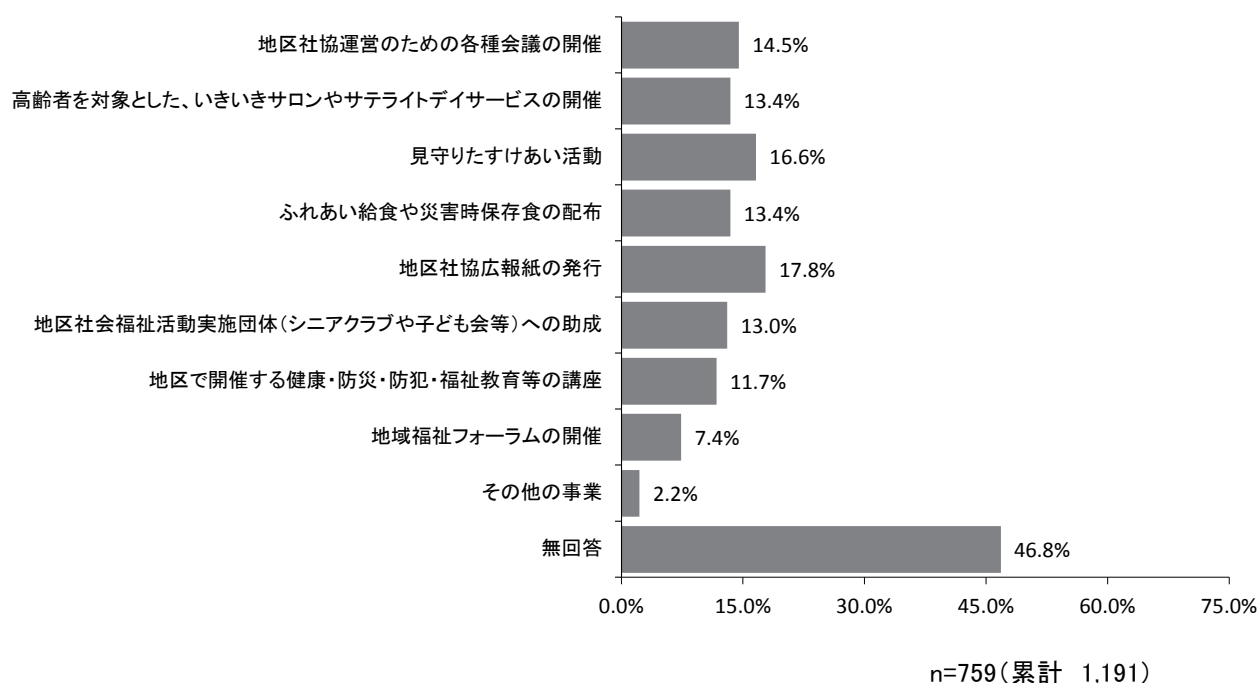
5-5 地区社協の事業（活動）の認知度

「地区社協広報紙の発行」が回答として最も多い。

問 22 あなたの知っている地区社会福祉協議会の活動は次のどれですか。（あてはまるものすべてに○）

地区社協の事業（活動）の認知度は、「地区社協広報紙の発行」が17.8%で最も多く、次いで「見守りたすけあい活動」が16.6%、「地区社協運営のための各種会議の開催」が14.5%となっています。

図-29



5-6 今後、充実していくべき市社協の事業（活動）

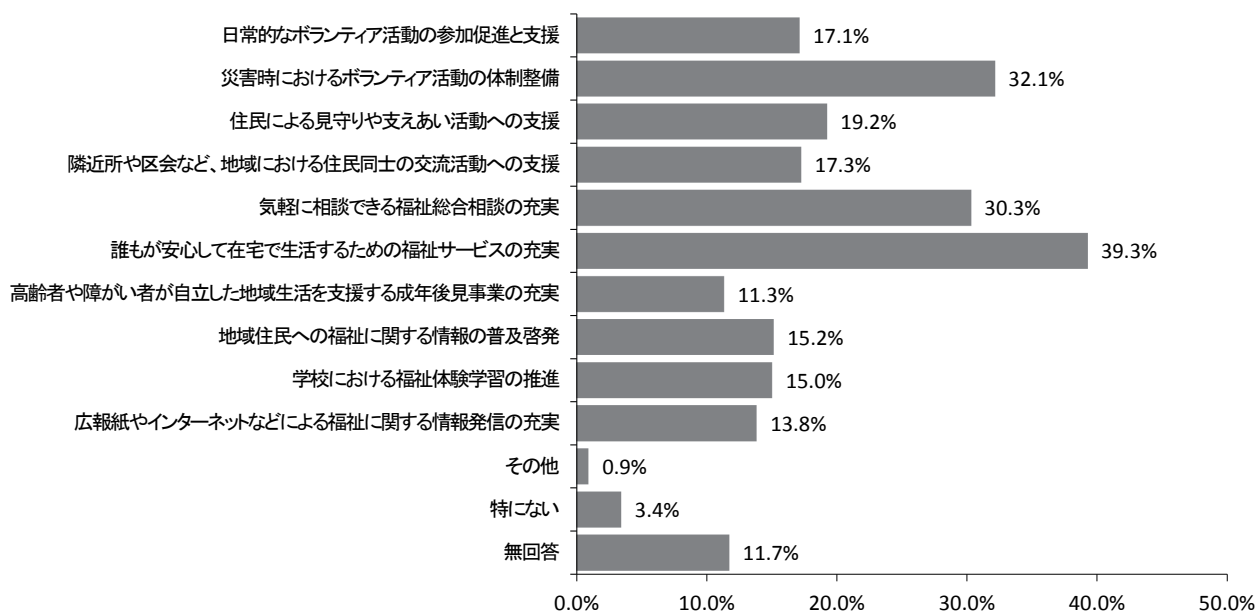
「誰もが安心して在宅で生活するための福祉サービスの充実」

が回答として最も多い。

問 23 匝瑳市社会福祉協議会が行う活動・支援として、今後、充実してほしいものはどれですか。（〇は3つまで）

今後、充実していくべき市社協の事業（活動）は、「誰もが安心して在宅で生活するための福祉サービスの充実」が 39.3%で最も多く、次いで「災害時におけるボランティア活動の体制整備」が 32.1%、「気軽に相談できる福祉総合相談の充実」が 30.3%となっています。

図-30



n=759(累計 1,721)

